

# 吉井源太と日本製紙論

土佐和紙が追求した多様な機能

幕末から明治期にかけて活躍した伊野の製紙家・吉井源太(1826-1908)。「土佐典具帖紙」に始まり、海外で人気を博した「コピー紙」や画家に愛好された「図写紙」、兵士のための「防寒紙」など、多様な紙を考案し、技術改良しています。それらは、透ける・写す・保温する、といった先進的な機能を追求した新しい紙でした。

本展では、源太の著書『日本製紙論』と日記などから、近代化に先がけた機能的な紙と、開発への情熱に迫ります。

紙の文明開化、伊野より。



吉井源太が考案・改良した紙

一度に何枚も複写できる紙 **コピー紙**

香りを逃がさない紙 **土佐藩の薬袋紙**

半透明のトレース用紙 **ドウサ漉入図写紙**

燃えにくく軽い紙 **防火紙**

紙を着れば、あたたかい **防寒紙**

2013 **1/26** **土** SAT → **3/3** **日** SUN

いの町紙の博物館 2F展示室

開館時間 / 9:00~17:00 (ただし最終日は~16:00) 休館日 / 月曜日 (祝日の場合は翌日休館)  
入館料 / 大人500円、高・中・小学生100円 (ホームページに割引券あり)、年間券1,500円

Japanese Paper Museum Ino town

いの町紙の博物館

〒781-2103 高知県吾川郡いの町幸町110-1

TEL088-893-0886 FAX088-893-0887

<http://www.k3.dion.ne.jp/~tosawasi/>

■高知自動車道伊野ICから車で約5分、高知市から車で約30分



【主催】いの町紙の博物館 【後援】高知新聞社・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSSさんさんテレビ・NHK高知放送局・高知県手すき和紙協同組合

## ■記念講演

「吉井源太と日本製紙論 -紙開発のエピソード-」

講師 / 村上弥生 (吉井源太研究家・本展監修)

2月23日(土) 午後2:30~

紙の博物館所蔵の日記から、新しい紙の開発や著書出版に関連して、源太の人柄や明治という時代を伝えるエピソードの数々を。

## ■関連講演

「よみがえる美術工芸品-修復材料としての和紙-」

講師 / 田井東 浩平 (公益財団法人 土佐山内家宝物資料館 学芸員)

2月3日(日) 午後2時~

土佐藩山内家伝来の掛軸「桜花に孔雀図」などの修復事例をとおり、伝統的な修復技法と修復材料としての和紙の役割・用途についてご紹介します。

※講演は入館料で聴講できます(予約不要)

## ■関連ワークショップ

「実験してみよう! 源太さんのワザ」

2月17日(日) 午後1時~

ビフォー・アフターで、紙への効果を比較体験できるワークショップ。

テーマは、原料を叩く・原料のチリ取り・和紙ならではのネリ・にじみ止めなど。

定員 / 予約で先着10名 (小学生以上) 料金 / 420円 (入館料と別途)